



地震後も住み慣れた我が家で暮らすために マンションで備える共助の仕組みを大切に

天王寺区では85.3% (平成25年住宅・土地統計調査)の方がマンションなどの集合住宅に住んでいます。マンションは戸建て住宅と比べて構造上耐震性に優れており、災害発生時も建物は比較的軽微な損傷で済み、多くの方が避難する災害時避難所ではなく住み慣れた我が家で生活すること(在宅避難)ができる可能性が高いと考えられます。

しかし、エレベータの故障や電気・ガス・水道などライフラインの停止といった、個々の家庭での備えだけでは対処できない問題もあります。これらの問題に対処し在宅避難するためには、マンション単位での備えが必要です。

とすればご近所同士の関係が薄くなりがちなマンションで、災害時の迅速な安否確認、救助活動をはじめ、共用設備の故障など被災後の生活トラブルへの対応を行うためには、普段から誰が住んでいるのか、救助が必要になる方はいないかを把握するとともに、いざというときには助け合って生活を支える「自主防災組織」を作ることが有効です。

自分のマンションでどう行動すればよいか、誰の指示に従えばいいのかが、ぜひ皆さんで考えてみませんか。

■南海トラフ巨大地震によるライフライン被害の想定

項目	大阪市内被害想定	復旧目安
上水道 💧	約 51% (直後断水 100%) (約 140 万人)	約 40 日
電力 ⚡	停電率 約 49% (約 72 万軒)	約 1 週間
通信 (☎)	電話不通率 約 48% (約 53 万 3 千回線)	約 1 ヶ月
ガス 🔥	供給停止率 約 53% (約 70 万 4 千戸)	約 1 ヶ月

地震発生時にマンション住民が困ったこと

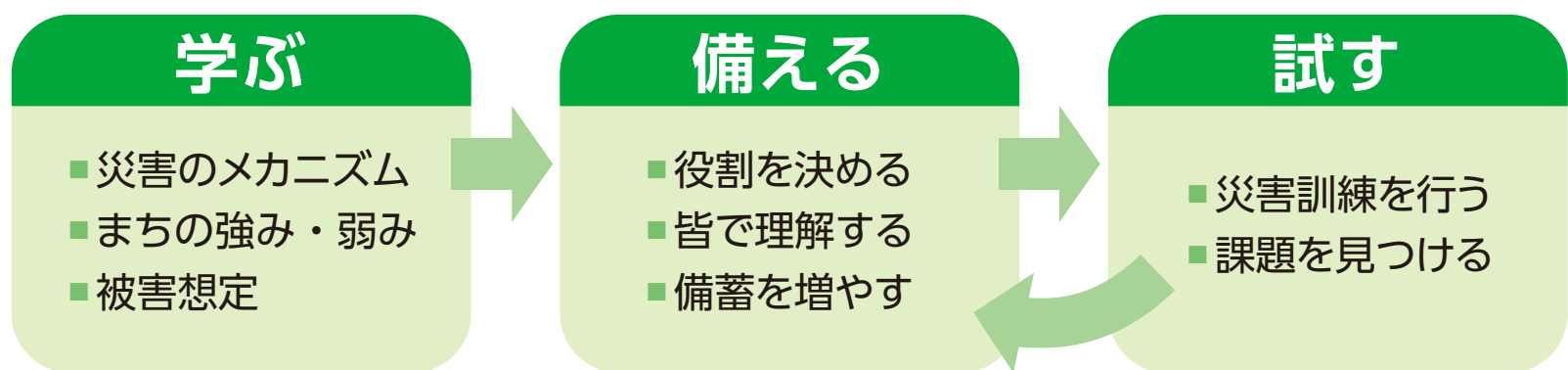
- 管理組合理事長がいなくて困った。
- 管理員室のカギの場所が分からず入れなかった。
- 管理会社に電話が通じなかった。
- エレベータ復旧がいつになるかわからない。

自主防災組織を
つくて、
皆で話し合おう



自主防災組織づくりを支援します

■学んで備えよう



■マンション防災支援員をご活用ください

天王寺区では専任のマンション防災支援員を配置し、皆さんがお住まいのマンションでの自主防災組織づくりをお手伝いしています。

防災の基礎知識を身に付けるため、防災学習会での講師として分かりやすく知識をお伝えするほか、自主防災組織の立ち上げに向けたポイントをアドバイスします。

どこから手を付けたらよいか分からない。そんな方も、ぜひお気軽にお問い合せください。

☎危機管理課 担当：^{くめかわ} 桑川 ☎6774-9899

平日、土・日・祝日、夜間にかかわらずお伺いします

